四国森林管理局 森林技術・支援センター

次世代につなげる森林づくり

NO.１１号

平成 26 年 11 月 26 日

森林総合監理士（フォレスター）育成研修事業 技術者育成研修 実践研修を実施

◆十月二十七日～二十八日

これまでの准フォレスター研修のフォローアップ的位置付けとなる実践研修（現地研修）「新たな架線系作業システムへの取組と最新の木材利用・流通」を嶺北署管内の民有林で実施しました。

◆今回の研修は、四国四県はもとより、遠くは奈良県、和歌山県からの受講生もあり、総勢二六名（県職員十八名、市町村職員一名、国有林職員七名）を対象に、実施しました。

◆初日は、本山町上関（民有林）において、外国製タワーヤーダと自走式搬器を利用した「新作業システム」で木材搬出作業を行っている（有）川井木材の事業現場を視察しました。現場では、現場担当者から事業内容について説明を受けました。研修生は、最新の林業機械に大いに興味を示し、多くの質問がなされ、活発な意見交換が行われました。

ラジコン・自走式搬器

最新のタワーヤーダ

◆二日目は、午前中「最新の木材利用・流通」等についての講義を受け、午後からは、四国でも最新システムを導入した「高知おおとよ製材工場」を視察しました。研修生は、工場の規模の大きさに驚くとともに、より効率性を求めたシステムと需要に応じた安定した製品づくりに感銘を受けた様子でした。

工場を視察する研修生

最新システムに感嘆！

◆その後、大豊町役場の会議室において、各班毎に「今後、フォレスターとしてやってみたいこと」をテーマとした発表が行われ、講師等からは発表内容に対する助言と激励のコメントがありました。

最後に閉講式では、鶴園森林整備部長から、将来のフォレスターへエールを込めた挨拶があり、二日間の研修を無事終了しました。

フォレスターとして・発表！

今回の研修生一同

★民有林と連携したシカ食害軽減への取組み！ 民有林支援として「小型囲いわな」の普及を行う！

◆十一月七日（金）

四万十町（旧大正町）芳川地区において、県、町等の関係者も交え地元住民の方々を対象とした、シカ捕獲用「小型囲いわな」の現地説明会を行いました。

国有林と接する当地区では、シカによる食害が多く発生しており、住民も駆除に頭を悩ませていたことから、設置が簡単な「小型囲いわな」を仕掛けてみたいとの希望が寄せられ実施しました。

効率的な捕獲やわなの取扱い方法などを説明した後、民有林内の二カ所で実際に設置を行いました。

上流に位置する国有林でもシカ捕獲調査を実施しており、上下流で連携して効果的な捕獲ができるよう、今後とも意思疎通を図りながら取組みを推し進めて参ります。

囲いわな設営の説明

実際に現地に設営